



高橋あきら 後援会だより

令和7年4月 第8号

発行：高橋あきら後援会
後援会：日立市河原子町1-1-1
電話：0294-33-1273
FAX：0294-32-3620

令和7年 第1回日立市議会定例会を開催

3月5日(水)から25日(火)までの21日間の会期日程で、定例会が開催されました。

本定例会の中で提出された議案は計46件、陳情・請願等は1件であり、それぞれ所管する事項毎に各委員会へゆだねられ、慎重に審査・調査を行いました。

その後、本会議の中で、各委員長より報告があり、議会としての採決の結果、全議案とも原案可決なら

びに原案承認となり、陳情・請願等については不採択と決しました。

| 議案の内訳 | | 件数[件] |
|-------|-----------------|-------|
| 1 | 令和7年度当初予算 | 8 |
| 2 | 令和6年度補正予算 | 5 |
| 3 | 条例・契約関係 | 23 |
| 4 | その他(人事案件・専決処分等) | 10 |
| 5 | 陳情・請願等 | 1 |

令和7年度当初予算の概要 1,268.3億円(前年度比で+12.1億円)

原案可決

◆基本方針

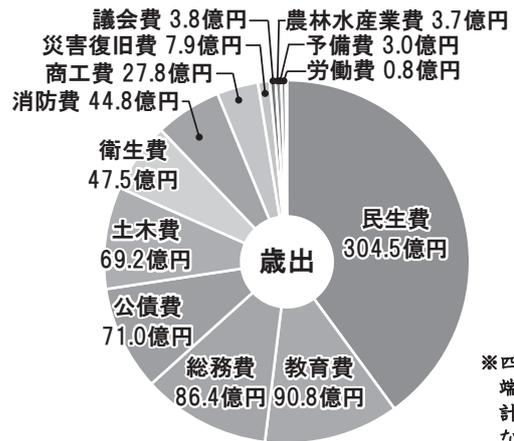
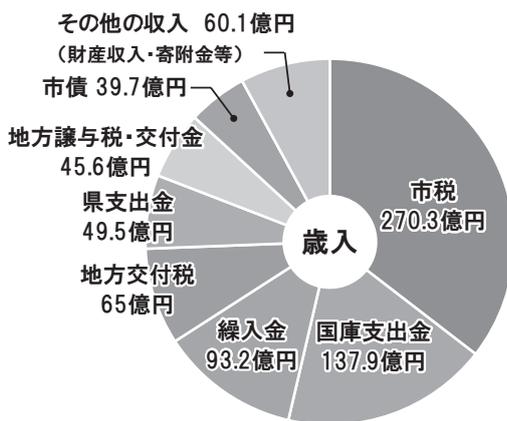
- ①市民の暮らしと生活を守る「物価高騰対策」の実施
- ②令和5年台風13号に伴う豪雨災害からの「本格復旧」
- ③4年目を迎える「総合計画 前期基本計画」の着実な推進
- ④人口急減社会に対応する「経営改革」への取組

◆予算編成の柱

- ①安全・安心のまちづくり
- ②地方創生・人口減少対策
- ③都市力の向上
- ④持続可能なまちづくり

| 事業項目 | 予算【億円】 | 前年度比 | |
|------|--------|---------|--------|
| | | 増減額【億円】 | 増減率【%】 |
| 一般会計 | 761.3 | 13.5 | 1.8 |
| 特別会計 | 507.0 | ▲1.4 | ▲0.3 |
| 合計 | 1268.3 | 12.1 | 1.0 |

一般会計における歳入・歳出の概要(761.3億円…過去2番目の予算規模)



※四捨五入での端数処理上、計算が一致しない場合有

▼特徴増減理由など

- ① 市税(前年度比10.0億円増)
→個人や法人市民税増加など
- ② 国庫支出金(前年度比計22.2億円増)
→児童手当費負担金や運動公園野球場再整備等の大型事業に係る補助金増加など
- ③ 市債(前年度比0.4億円減)
→治水対策や大型事業等で増加した一方、臨時財政対策債が皆減
- ④ 民生費(前年度比14.3億円増)
→国の制度改正に伴う児童手当支給など
- ⑤ 教育費(前年度比1.7億円増)
→運動公園野球場再整備、タブレット更新など
- ⑥ 消防費(前年度比3.2億円増)
→北部消防署庁舎整備など
- ⑦ 災害復旧費(前年度比6.0億円増)
→治水対策、本庁舎安全対策など

令和7年度の主な事業

安全安心のまちづくり

1. 共創プロジェクト推進事業【789万円】

(地域医療デジタル化)【新規】

①小児科等医師による夜間・休日のオンライン診療の実施(市内医療機関等と連携)

【対象】0歳～中学校3年生までの小児

【時間等】月～土曜：18～22時

日曜・祝日：9～13時、14～22時

②小児科等医師による24時間365日チャット問診・相談の実施

【対象】0歳～中学校3年生までの子育て世帯



2. 共創プロジェクト推進事業【324万円】

(地域包括ケアシステム)

医療機関や介護事業所、家族等の関係者の協力によるデジタルを活用したモデル事業を実施し、その効果や課題等を検証

3. 共創プロジェクト推進事業【3,104万円】

(健康データの集約・活用)【新規】

①健診・レセプトデータの集約・分析

健康保険組合等が有する40～79歳の匿名化された約66,000人分の健診・レセプトデータを集約・分析し、日立市全体の健康課題を把握

②健康アプリを活用した疾病発症リスクの予測

健康アプリ活用したAI疾病発症リスク予測を行う

【対象】40歳以上の希望者

4. 自転車用ヘルメット購入費補助事業【211万円】

【新規】

【対象】22歳以下または65歳以上の購入者

【補助】補助率1/2 上限2,000円

5. 予防接種事業【5,266万円】

①帯状疱疹ワクチン接種費助成【新規】

令和7年4月からの定期接種化に伴い接種費用の一部を助成

【対象】・65歳の定期接種者
・70歳以降5歳ごとの経過措置者

【助成額】・生ワクチン：4,000円

・不活化ワクチン：10,000円×2回



②子宮頸がんワクチンの継続実施【臨時】

昨年度末までのキャッチアップ接種について、公費で3回接種完了できるよう1年間経過措置を設ける

6. 子育て世帯応援事業【6,835万円】【臨時】

物価高騰対策として、おこめ券を配布(440円×10枚)

【対象】高校生年代(18歳以下)までの子育て世帯



7. 省エネ家電導入促進事業【1億2,900万円】

【臨時】

省エネ性能の高いエアコンまたは冷蔵庫への買い換え購入費を補助

【対象】市内店舗で省エネ基準を満たすエアコン・冷蔵庫への買い換えを行った市民
※75歳以上の方を含む高齢者(65歳以上)のみのエアコンがない世帯は、新規購入も対象

【補助額】3万円/世帯(3万円未満は購入額)

【対象期間】令和7年4月1日～9月30日まで

【申請期間】令和7年5月20日～10月20日まで



地方創生・人口減少対策

1. 主食提供事業【1,362万円】【新規】

公立保育園・認定こども園(11園)において、現在、自宅から持参している主食(ご飯)を提供

【対象】3～5歳児クラスの園児(約450人)

【負担額】1,460円/月

【実施時期】令和7年4月

2. 病児保育施設整備費助成事業【6,575万円】

【臨時】

病児対応型の保育施設整備を行う事業者に対し、補助を行う

【設置者】(株)常磐ヒラメディカル

【開設予定地】みなと町

【定員】3名(対象：1～12歳)

【開設予定日】令和8年4月



3. 学校給食費無償化事業

【5億731万円】

小・中学校等での給食費の完全無償化を継続実施

【保護者の負担軽減額】

小学生：47,740円/年(4,340円/月)

中学生：54,560円/年(4,960円/月)



4. シティプロモーション推進事業【891万円】

【新規】

①ひたちファンクラブの設立・運営

市の魅力共有やPR冊子等の作成、地方創生の人材育成に資するワークショップ等を開催

②ロケ誘致によるファン創出業務委託

地域や専門の民間企業等と連携し、ロケ撮影の誘致や資源の発掘、ファン創出に向けた情報発信等を行う

5. 女性人材育成事業【107万円】

- ①女性の就業専門資格取得等補助【**拡充**】
【補助】補助率1/2、上限15万円(額引き上げ)
- ②就業支援のための講座開催

6. 若者チャレンジ応援事業【743万円】

- ①若者の資格取得に対する補助【**拡充**】
【補助】補助率1/2、上限15万円(額引き上げ)
- ②若者活躍応援補助
【補助】補助率10/10、上限15万円 など

7. 放課後児童対策事業【1,846万円】【**拡充**】

民間児童クラブ(10クラブ11クラス)の支援員等処遇改善の新たな補助金を交付

8. 奨学金制度拡充事業、奨学生医療・介護・福祉職就業支援事業【3,541万円】

- ①日立市に定住する奨学生に対し、奨学金返還額の50%相当額を補助
- ②医療・介護・福祉分野の国家資格資格を取得し、市内に就業した場合は、さらに50%相当額を補助

都市力の向上

1. 常陸多賀駅周辺地区整備事業【7億635万円】

【**臨時**】

- ①自由通路新設実施設計業務委託
- ②駅舎改築実施設計業務負担金
- ③東口交通広場整備用地取得、物件移転補償



2. 共創プロジェクト推進事業

（スマート化公共交通）【1,600万円】

- ①次世代モビリティ導入検討業務委託
実証実験や導入可能性を検討
- ②統合アプリ作成基礎調査業務委託
多様な公共交通の利用に係る統合アプリ(経路検索・予約・運賃決済等)の導入を検討

3. 横断歩道協改修事業【2億6,531万円】

【**臨時**】

- ①日立駅東跨線人道橋撤去委託
撤去工事をJRに委託
※令和5～8年度継続費 総額6億1,620万円
- ②エスカルロード臨時改札口改良工事
駅構内にある既存跨線橋が老朽化に伴い撤去されるため、臨時改札口の改良工事を行う
※令和7～9年度継続費 総額2億8,300万円
- ③市道2857号線用地測量業務委託
上記①に伴い、エスカルロードにエレベーターを設置するための用地測量を行う

4. 幹線道路整備検討事業【2,066万円】

- ①(仮称)真弓トンネル整備事業負担金
本事業に係る常陸太田市への負担金
- ②十王町伊師地内新設道路概略設計【**臨時**】
本市北部地域と高萩市を結ぶ新設道路(十王町伊師地内)の概略設計を実施

持続可能なまちづくり

1. ごみ等収集システム検討事業【1,459万円】

【**新規**】

現在、地域住民が行っている再生資源集積所(約1,500か所)の用具設置・回収を市が実施

【実施時期】令和7年度下期

2. 水産振興対策事業【1,237万円】

①「ひたち漁師塾」運営補助【**新規**】

新規漁業就業者の確保を図るため、塾生に対する就業支援金、漁業者への謝礼等を補助 など

3. 日立市コミュニティ推進協議会設立

50周年記念事業【250万円】【**臨時**】

本協議会が、令和7年度に50周年を迎える(昭和50年設立)にあたり、記念式典を開催

【開催時期】令和7年11月

【開催場所】シビックセンター音楽ホール(予定)

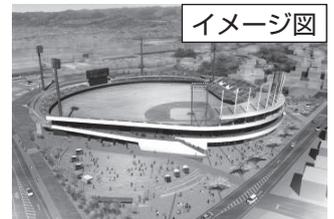
4. 運動公園野球場再整備事業【**臨時**】

【19億7,385万円】

老朽化した野球場の再整備を行う

【供用開始(予定)】

令和8年7月頃



5. 情報教育環境整備事業【6億2,769万円】【**臨時**】

児童・生徒用タブレットPCを更新(リース期間満了)

【対象台数】小学校:6,970台 中学校:3,857台

特別支援学校:143台

6. 日立特別支援学校校舎等改築事業費

【2億1,469万円】【**臨時**】

老朽化した校舎等の建替えに係る基本・実施設計を進める(業務委託)



一般質問へ登壇



質問の概要

1. 市内JR各駅のAED設置環境の充実について
2. 道路維持管理業務の効率化について
3. 学校体育館等の貸出しにおける市民の利便性向上について
4. 災害時の避難所トイレの環境整備に向けた取組について
 - (1) 指定避難所へのマンホールトイレ整備の加速化について
 - (2) さらなる共助体制確立に向けた取組について

「一般質問」とは

議案に関係なく、市政全般について市長など執行機関の考えや方針を問い質すことを言います。



詳細は日立市議会会議録をご参照ください。

質問の詳細(抜粋)

1. 市内JR各駅のAED設置環境の充実について

【質問】

市内JR各駅のAED設置状況は、日立駅のみがJRにより駅舎内に設置されているが、他4駅については未設置である。また、周辺にある市管理の自転車駐車場や公共施設、コンビニエンスストアにはAEDが設置されているものの、最寄りの設置場所まで徒歩で往復8分以上かかる駅もある。

国の補助金を活用した研究報告で、心肺停止後、AEDの使用が1分遅れるごとに救命率が約10%ずつ低下することが報告されていることから、AEDを使用するまでに時間を要することは大きな課題である。

市内外から通学や通勤等で多くの方が利用する駅においては、救命率向上の観点から市管理の自由通路がある駅は、改札付近へのAED設置を進め、自由通路がない駅については、駅舎出入口付近への設置のほか、JRの管理となる駅舎内のコンビニエンスストアや改札内への設置協力依頼についても強く進めるべきと考えるが、見解を伺う。

【執行部答弁】

本市のAED設置状況は、現在、市内公共施設やコンビニエンスストア計243か所に設置が完了している状況である。また、使用状況は、令和7年1月末時点で計26回使用されており、内6名の方が心肺停止の状態から社会復帰した実績がある。

駅構内等へのAED設置については、更なる救命率の向上を図るために、大変有効であると認識している。

そのため、駅構内及び市が管理する自由通路について、最も効果的な設置場所を検討するとともに、JRとAEDの設置協力体制について協議を進めていく。

3. 学校体育館等の貸出しにおける市民の

利便性向上について

【質問】

本市では、市民が身近にスポーツやレクリエーション活動ができる場として、市立小中学校の体育館等を学校教育の支障がない範囲で貸出しを行っており、現在、利用団体数は300団体を超え、多くの方々に利用されている。

一方で、利用するためには、事前の団体登録申請等の手続きに加え、利用を希望する小中学校の午前9時から午後4時半までの開校時間中に出向いて体育館等の鍵の借用を行う必要があるため、平日の日中に仕事をしている会社員などが多い団体にとっては時間的な負担が生じている状況にある。

実際に、利用者からは利便性向上を要望する声を伺っており、その対応策の1つとして、物理的な鍵の受け渡しをすることなく、暗証番号やスマートフォン、ICカード等を使用し施錠解錠が可能な電子錠であるスマートロックの導入を進める必要があると考えるが、執行部の見解を伺う。

【執行部答弁】

令和5年度、鍵の借用が必要な体育館等の貸出し利用件数は、年間延べ9,588件である。

スマートロックの導入は、利用者の利便性向上に加え、施設管理を担う学校教職員の負担軽減にもつながる有効な手段であると捉えている。

一方、対象となる全施設への電子錠やインターネット接続機器等の整備費用やシステム運用経費等の課題もある。引き続き、国の実証事業結果や、先進事例等をふまえ、スマートロックの導入等、市民の利便性向上に向けて、調査・検討を進めていく。

編集後記

一般質問と並行し、心肺停止等の傷病者に遭遇した際、すぐに付近のAED設置場所を探せるよう、市公式LINE内下部メニューへの「AED設置マップ」追加要望を行ったところ、2月末より追加されました。高橋あきら

仕事の不満や不安、悩まないでお電話を
 **何でも労働相談**
 適合の茨城 0120-154-052